

大東茶(台湾椿)実生チャレンジ since 2022

大東茶(台湾椿)で2度目の実生苗作りにチャレンジします(2020年に一度チャレンジして、2本の苗木の育成に成功しました)。大東茶(台湾椿)の種子はとてもユニークです。形状が、椿というよりかは松ぼっくりの種子に良く似ています。裂果をすると風に吹かれてひらひらと飛んでいくようです。

2022年11月～



2022年12月4日

同年12月10日

同年11月21日
前年開花の果実

同年11月24日
前年開花の果実

同年11月24日
果実を採取

果実には
たくさんの種子が



種子の形状が
とてもユニークです

同年11月25日
種子を水に浸し→苗床を準備

同年11月27日
種蒔き



同年11月27日
種蒔き

簡易ミニ温室で保管 育成

同年11月27日発芽!
(10月に種蒔をしていた地植種) 3本→2本成長)

2023年5月～



発芽2本(10月分)
(鉢植えより成長)

2023年5月
9本(2+7)発芽(6月1日現在)

2023年7月19日現在
早いものは葉が6枚になりました

参考



親樹(自家栽培鉢植)
大東茶(だいとうちゃ)
別名:台湾椿

2020年
実生苗
2本



親樹より葉の形状が大きく
背も高く伸びている(2023年6月)



→つらつら椿外苑に移植(2023年5月)→
自家栽培地植えの大東茶も同時に移植

